

盛岡市立小中学校の耐震診断の状況と今後の対応について

平成22年6月1日
教育委員会

1 第2次耐震診断結果及び計画

教育委員会では、市立小中学校耐震化対策として、新耐震基準以前（昭和56年以前）に建築した校舎・体育館について第1次耐震診断を実施し、その結果に基づき、Is値0.7未満の建物（棟）を有する学校を対象に、Is値の低い学校から順次第2次耐震診断を実施している。

平成21年度までに、第1次耐震診断でIs値0.4未満の建物（棟）を有する学校の第2次耐震診断を実施した結果及び措置状況は、次表(1)のとおりである。また、第2次耐震診断未実施の学校については、次表(2)の計画により行う予定である。

なお、21年度に国の「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」を活用し、第2次耐震診断を行った学校は、16校・48棟（78,801千円）である。

(1) 第2次耐震診断結果及び措置状況 <平成22年5月31日現在>

Is 値	実施年度	小学校		中学校	
		全3校・6棟	措置状況	全6校・10(3)棟	措置状況
「0.3」未満	H19・H20	緑が丘小2 厨川小3	H21 補強済 H22 補強予定	大宮中(2) 厨川中2 城東中1 下橋中2 薮川中(1)	H21 補強済 H22・23 改築予定 H22 改築予定 H22 補強予定 H22 補強予定
	H21	青山小1		城西中2 城東中3	
		全15校・35棟	措置状況	全7校・19棟	措置状況
「0.3」以上 「0.7」未満	H19・H20	緑が丘小4 大新小1, 厨川小1 北厨川小2 本宮小1, 川目小1		厨川中1 下橋中4 大宮中4 巻堀中2	H22・23 改築予定
	H21	仁王小4, 厨川小2 中野小1, 青山小3 高松小1, 太田東小2 大新小2, 東松園小1 玉山小1, *高松小2 *松園小2 *月が丘小4		上田中5 城西中2 繫中1	

Is 値		小学校	中学校
「0.7」以上	実施 年度	全8校・15棟	全4校・校舎6棟, (2)棟
	H19	—	巻堀中2・(1)
	H21	仁王小1, 青山小2, 太田東小1 大新小2, 東松園小2 *本宮小3, *松園小3, *高松小1	下橋中(1), 上田中1, 下小路中3

(注) 1 *は, 診断委託業者の結果に基づく Is 値で判定機関が審査中のもの

2 数字は校舎棟数, ()内は体育館棟数

3 第2次耐震診断済棟数 (全136棟のうち)

H19・20年度 13校・37棟, H21年度 18校・59棟 計96棟 (進捗率70.6%)

(2) 第2次耐震診断計画

年 度	実施予定校	棟数	校数	1次診断結果
H22 <H22.3月補 正繰越分>	見前小(1), 厨川中(2), 仙北中1 北陵中1	2 (3)	4	[Is値<0.4]
H23	中野小, 見前小ほか18校	23 (12)	20	[0.4≤Is値<0.7]

(注) 重複する学校があるのは, 校舎・体育館の棟ごとにIs値「0.3」未滿を優先して実施しているため。

2 今後の対応

(1) 耐震化工事

第2次耐震診断の結果により, Is値が「0.7」未滿となった建物は, 耐震化工事が必要となる。

特に, Is値が「0.3」未滿の建物は, 大規模地震により倒壊(崩壊)する危険性が高いことから, 早期の耐震化完了に向け, 工事を実施する。

また, Is値が「0.3」以上「0.7」未滿となった建物は, 大規模地震により倒壊(崩壊)する危険性があることから, 小中学校耐震補強計画を策定の上, 耐震化完了に向け, 順次工事を実施する。

なお, 耐震化工事の方法等については, 第2次耐震診断で提案された工法, 工事期間, 授業への影響等を総合的に勘案の上, 決定するものとする。

(2) 耐震化の推進

平成22年4月1日現在の盛岡市の耐震化の状況は, 耐震化率66.2%であり, 平成21年度(59.2%)より7ポイント上昇した。(判定委員会が審査中のものを除く。)

今後の市立小中学校の耐震化に当たっては, 「盛岡市耐震改修促進計画」との整合を図りながら, 耐震化率の向上を目指し, 第2次耐震診断及び耐震補強工事を推進するものとする。